

ベトナム投資を成功に導く、工業 団地開発とサポート体制について

VIDグループが開発・運営するハノイ近郊7箇所の工業団地運営経験による

VID Group ジェネラルコンサルタント

ベトナム投資支援センター (BTD Japan) 代表 中川 良一



Investment Support Center (BTD Japan)

BTDの20年経験と VID7カ所の工業団地に 100社の日本企業が進出

- ハナム省 ドンバン2工業団地
- ハノイ市 タクタットコックオイ工業団地 クアンミン工業団地 ダイトウ工業団地
- ハイズン省 フクデン工業団地 タンチュン工業団地 ナムサック工業団地



約100社の日系企業が VID工業団地において活躍されています。



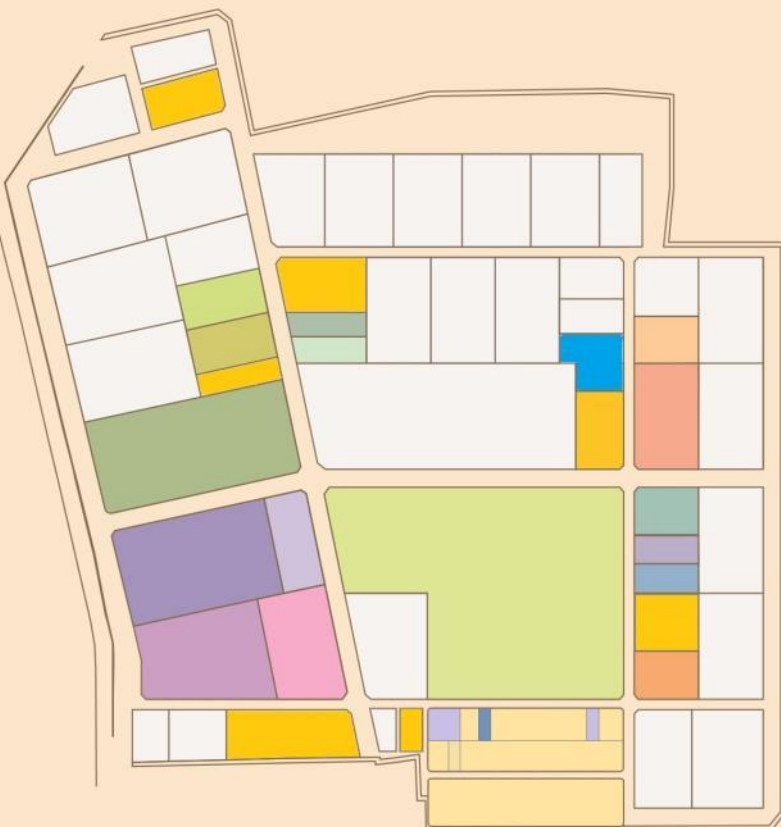
VID
Group



Investment Support Center (BTD Japan)

日系企業入居率60%以上の ドンバン2工業団地

KCN Đồng Văn II ドンバン2工業団地



1 ポーム	11 東海ゴム工業	21 東洋ドライループ
2 ホンダロック	12 本田技研工業	22 日昌
3 永大産業	13 フジゲン	23 ティラド
4 立花電気	14 大澤ワックス	24 石垣ゴム
5 昭和電工	15 ペルボン	25 日本梱包運輸
6 住友電装	16 日本F	26 桑山
7 カルバス	17 石川工業	27 ヨコオ
8 四国電線	18 ミナト	28 明治ゴム化成
9 エムオーテック	19 新井製作所	29
10 日本S	20 植田産業	30

順不同 区画位置順



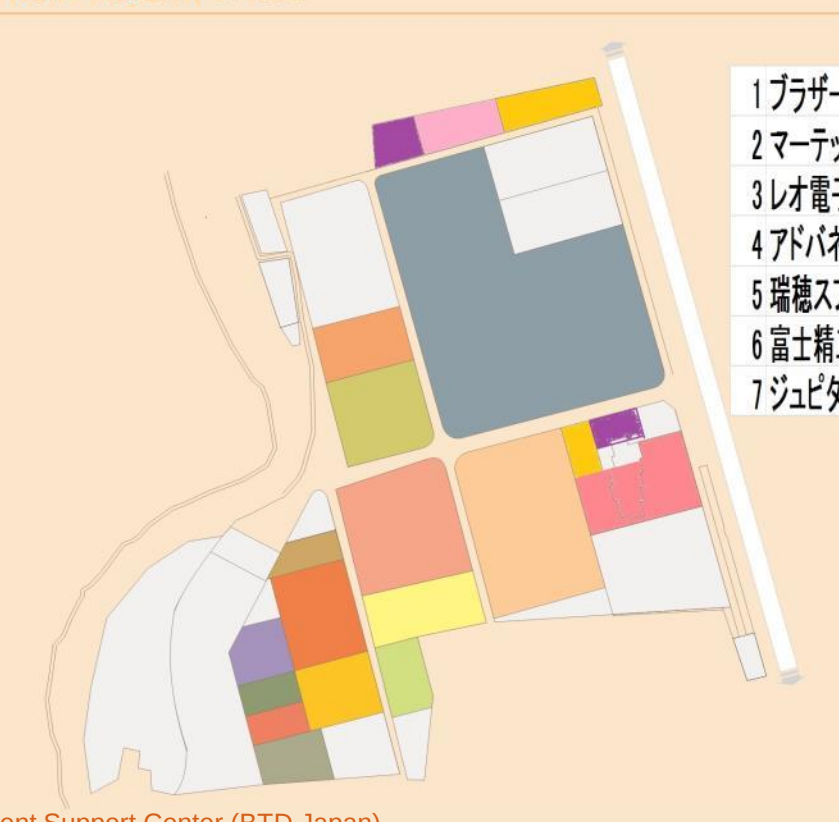
VID
Group



Investment Support Center (BTD Japan)

日系企業入居率60%以上のフクデン工業団地

KCN Phúc Điền フクデン工業団地



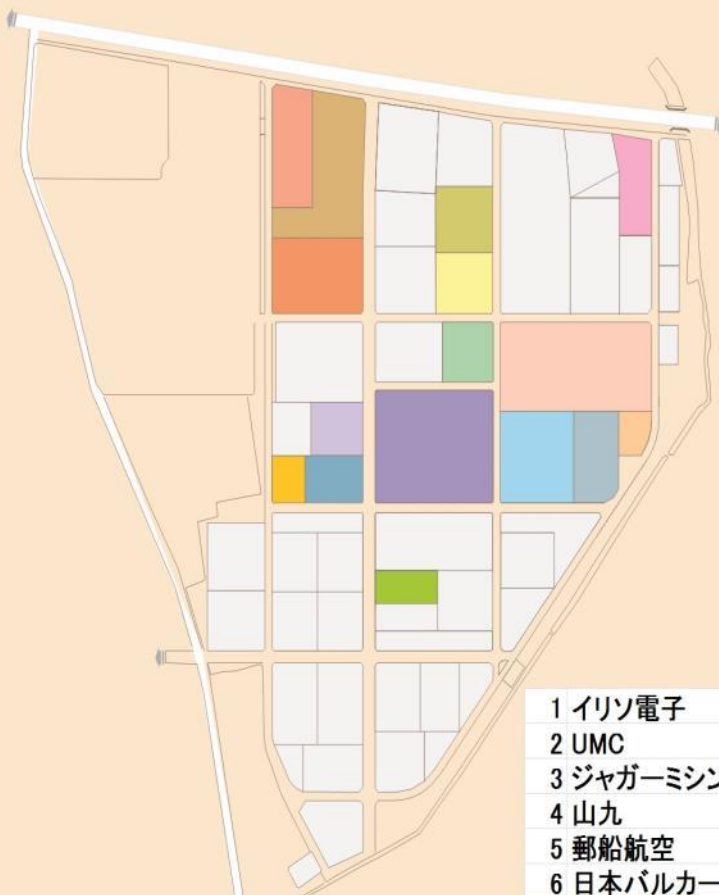
1 プラザー工業	8 サイアムスチール	15 フジケミ
2 マーテックス	9 日精電機	16 黒田化学
3 レオ電子	10 埼玉富士	17 メタルワン
4 アドバネックス	11 十和田オーディオ	18 ABCD
5 瑞穂スプリング	12 タイセイ電気	19 ヒラタ
6 富士精工	13 鴻池運輸	20 名実
7 ジュピター	14 FIT	21 サンユウ精密



Investment Support Center (BTD Japan)

日系企業入居率60%以上のタンチュン工業団地

KCN Tân Trùng タンチュン工業団地



1 イリソ電子	7 ユニデン	13 日立電線
2 UMC	8 三誠精密	14 第一化成
3 ジャガーマシン	9 日本SAM	15 ICS
4 山九	10 味の素	16 日本ミムテック
5 郵船航空	11 プラザー工業	17 VSMジャパン
6 日本バルカー工業	12 ペガサスマシン	

VID
Group

BTD
JAPAN

Investment Support Center (BTD Japan)

何故ベトナムなのか？

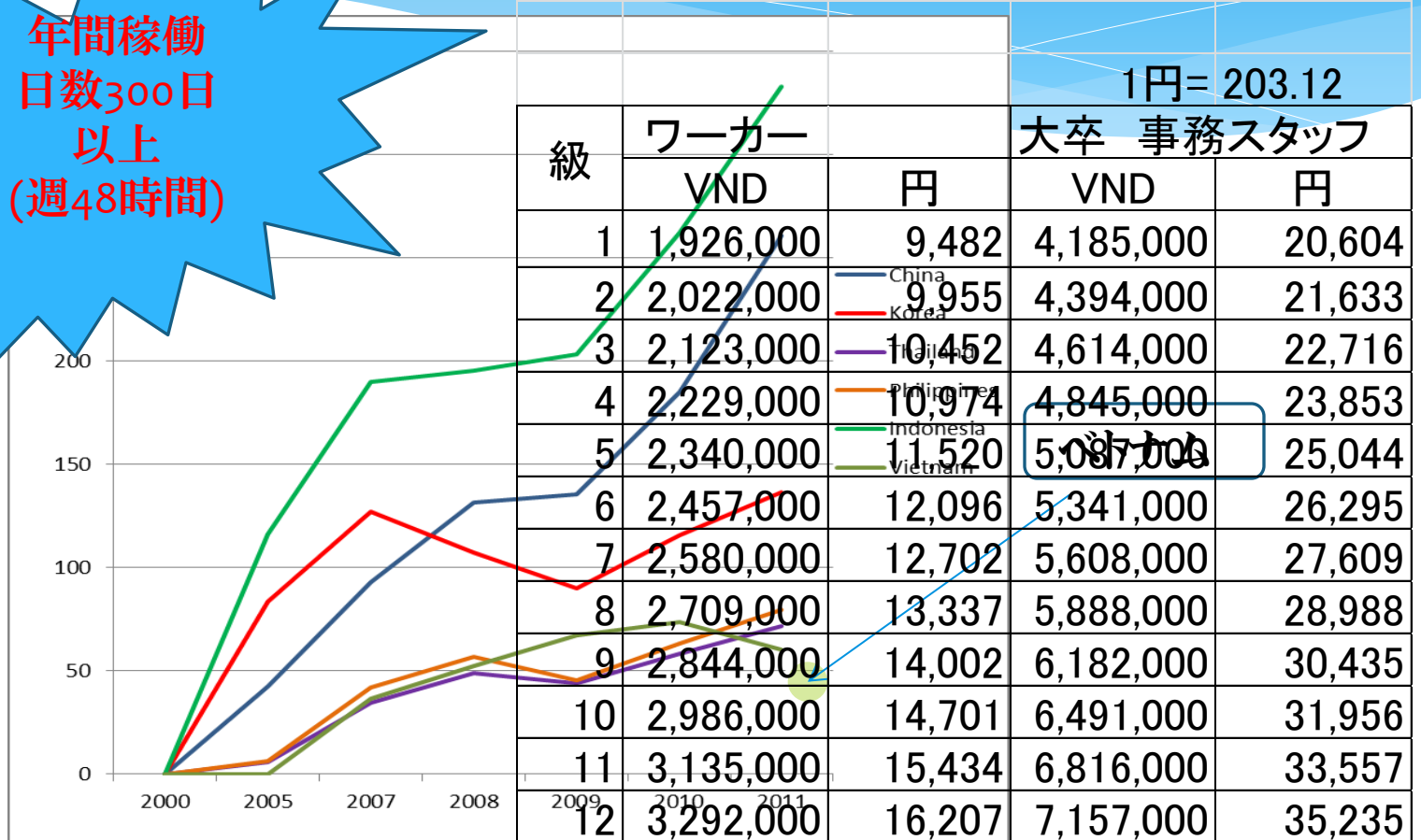
- * 近い
- * 親日的
- * 安価な労働力
- * 若者が多い人口構成
- * TPPを含む、幅広い貿易協定と周辺地域の大市場
- * 中小企業が比較的少額からの投資が可能



ベトナムは 毎年の最低賃上改訂が激しく 競争力が失われている というのは本当か？

年間稼働
日数300日
以上
(週48時間)

ドンバン2工業団地 中小企業向け専用エリア
ジャスメックハナム 参考給与テーブル



VNEUFTA:

- 2012年06月交渉し始め→現在

EU

ACFTA:

- 2004年11月署名
- 約90%が関税撤廃

AKFTA:

- 2006年8月署名
- 2016年には90%の品目が0-5%
- 2017年には関税撤廃

VJEPA:

- 2008年12月署名
- 日本: 2018年までに94.53%品目を0%
- ベトナム: 2018年までに87.66%品目を0%

AIFTA:

- 2009年8月署名
- 2016年ー2021年までに80%を0%

INDIA

Japan
China Korea

South
East Asia

AANZFTA:

- 2009年2月署名
- 2020 - 2026年までに90%を0%

Australia

AFTA:

- 1995年12月署名
- 2010 - 2018年までに100%品目を0%

New Zealand

TPP

現在9か国に
2012年末には
カナダ・メキシコ
が参加し 合計
11ヶ国になる予
定である。

アメリカ

カナダ

メキシコ

ペルー

チリ

VIETNAM

マレーシア

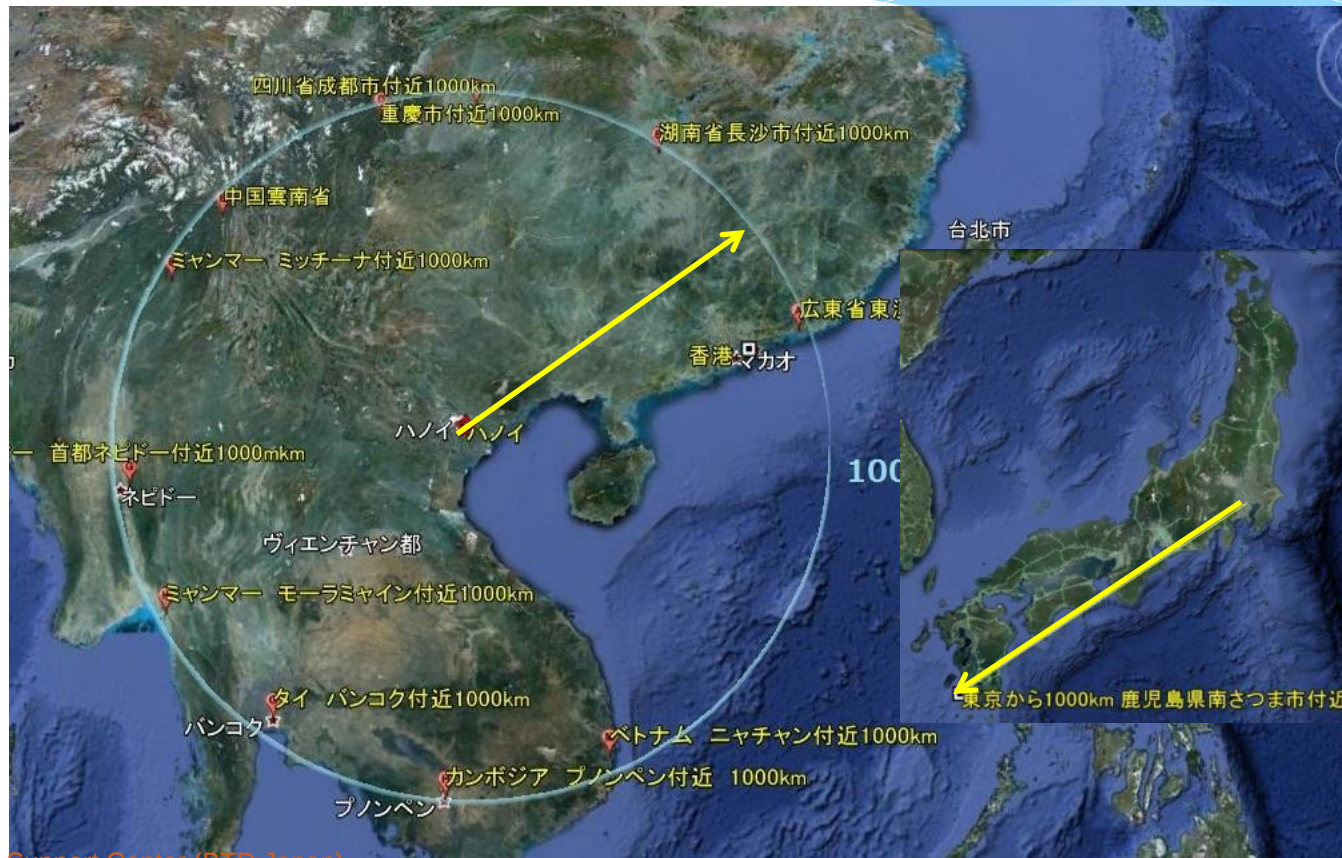
シンガポール

ブルネイ

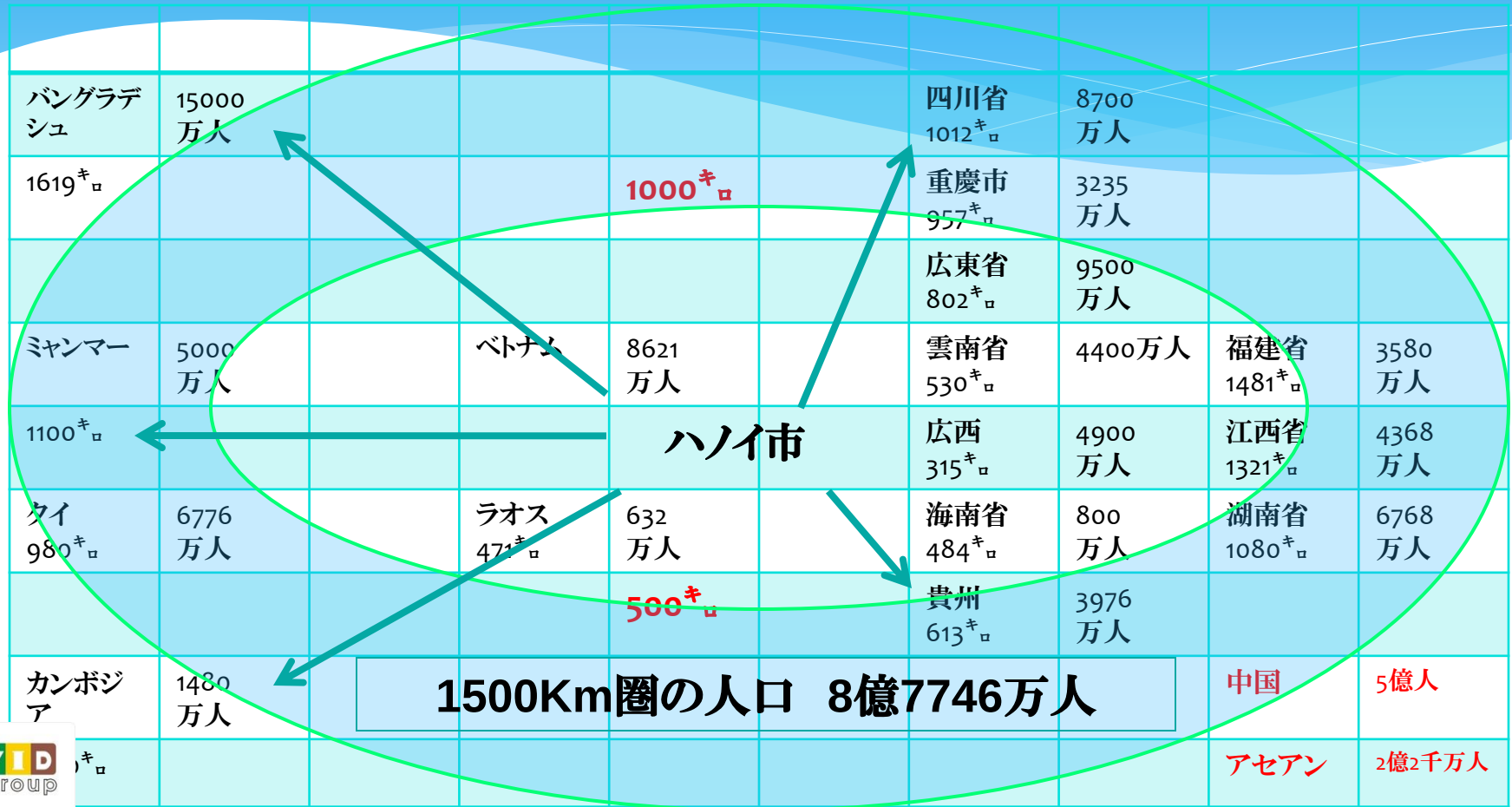
オーストラリア

ニュージーランド

東南アジア + One の拠点



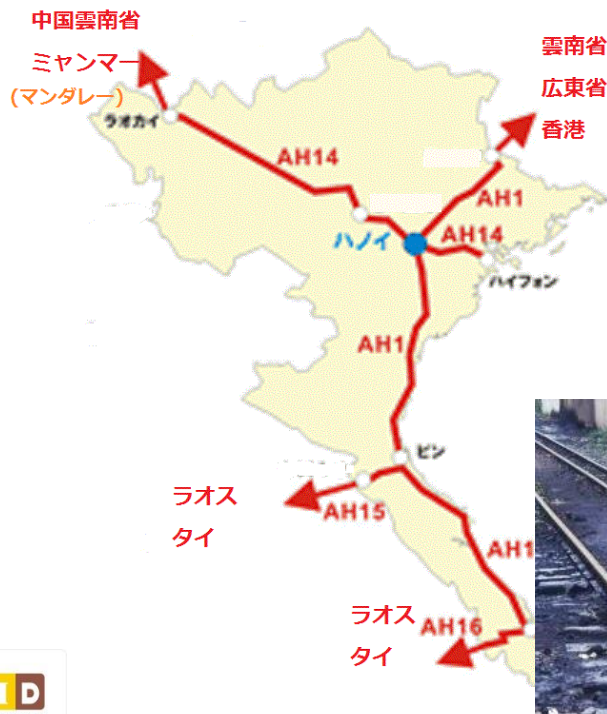
ハノイ周辺1500km以内の有望市場 国/地域の人口



Border gate of Vietnam & China



大きく変わる交通インフラ

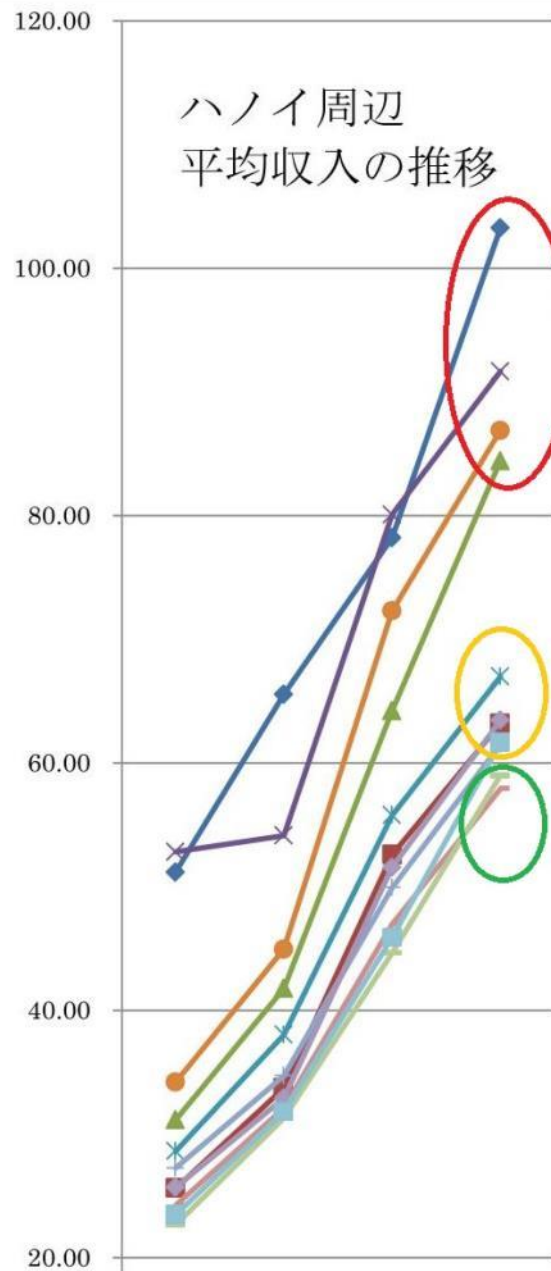


Train	駅名	時間	距離 (km)	金額 固椅子
DD3	Ha Noi	5:40		
DD3	Yen Vien	6:13	11	5,000
DD3	Bac Ninh	6:46	29	9,000
DD3	Bac Giang	7:30	49	13,000
DD3	Kep	8:05	69	17,000
DD3	Song Hoa	9:11	99	21,000
DD3	Dong Mo	9:39	113	25,000
DD3	Ban Thi	10:30	135	29,000
DD3	Lang Son	11:00	149	33,000
DD3	Dong Dang	11:30	162	37,000

ハナム省 ドンバン工業団地と 設立された中小企業向け専用エリ JASMEC HANAM



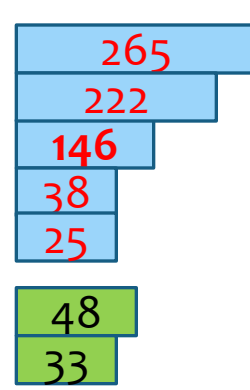
ハノイ周辺
平均収入の推移



進出済み外国プロ
ジェクト数



ハノイまでの
通勤時間



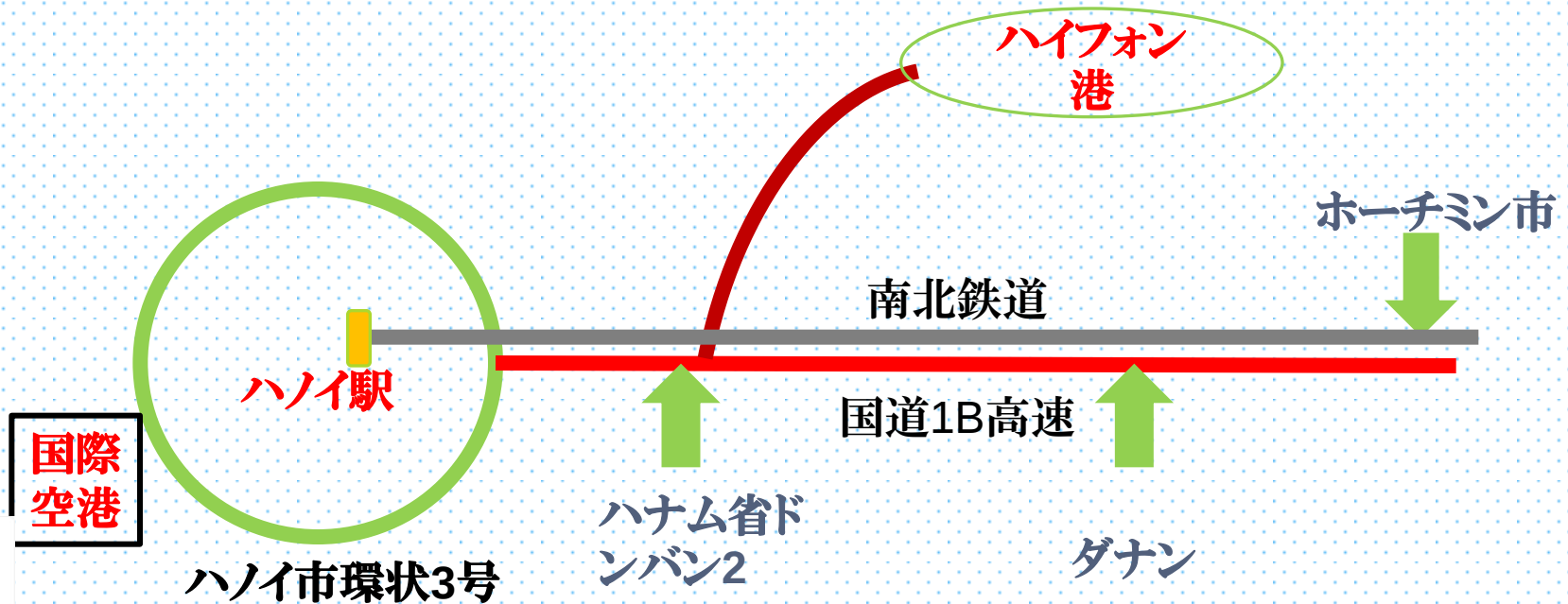
0.5
3.0
0.7
3.5

1.0
0.9
1.0
2.0
4.0

0.8
3.5

ハナム省ドンバン2工業団地の優位性

- ☆ドンバン2よりハイフォン港までは直線距離で80km
(ハノイ市内からの直線距離100kmよりも近い)
- ☆ベトナム南北を貫く 国道1号そして 南北鉄道
ベトナムの大動脈2本が工業団地に隣接する。



国際
空港

ハノイ市環状3号

ハナム省ド
ンバン2

ダナン

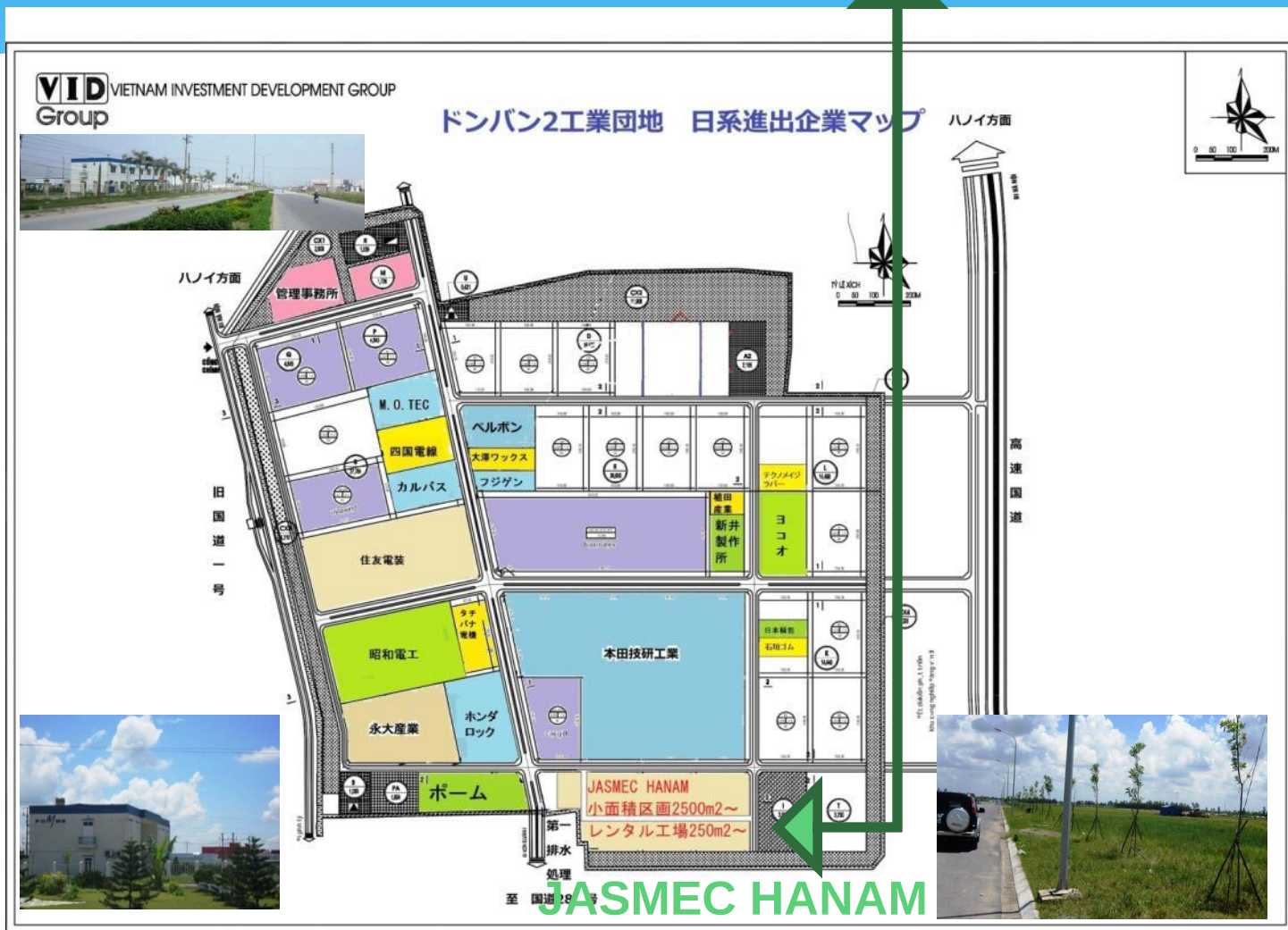
ホーチミン市

南北鉄道

国道1B高速

中小企業支援 その①: 小さな区画・研修施設や食堂等共用施設

11haの敷地に、道路や給排水等の追加インフラを整備



中小企業支援 その②: 材料調達

日系家具加工工場 材料調達のルート開拓と支援
1999年より河南省鄭州より3000km
中国鉄道100t貨車を利用し、ハノイ市内に輸送。



- ★100t貨車借上となるので、1回当たりの輸送量が多い
- ★軍事演習等による 軍事優先による遅延がおこった。

○複数企業で共同で借り上げる。

○ベトナムから中国内への輸出が出来ると コスト低減可

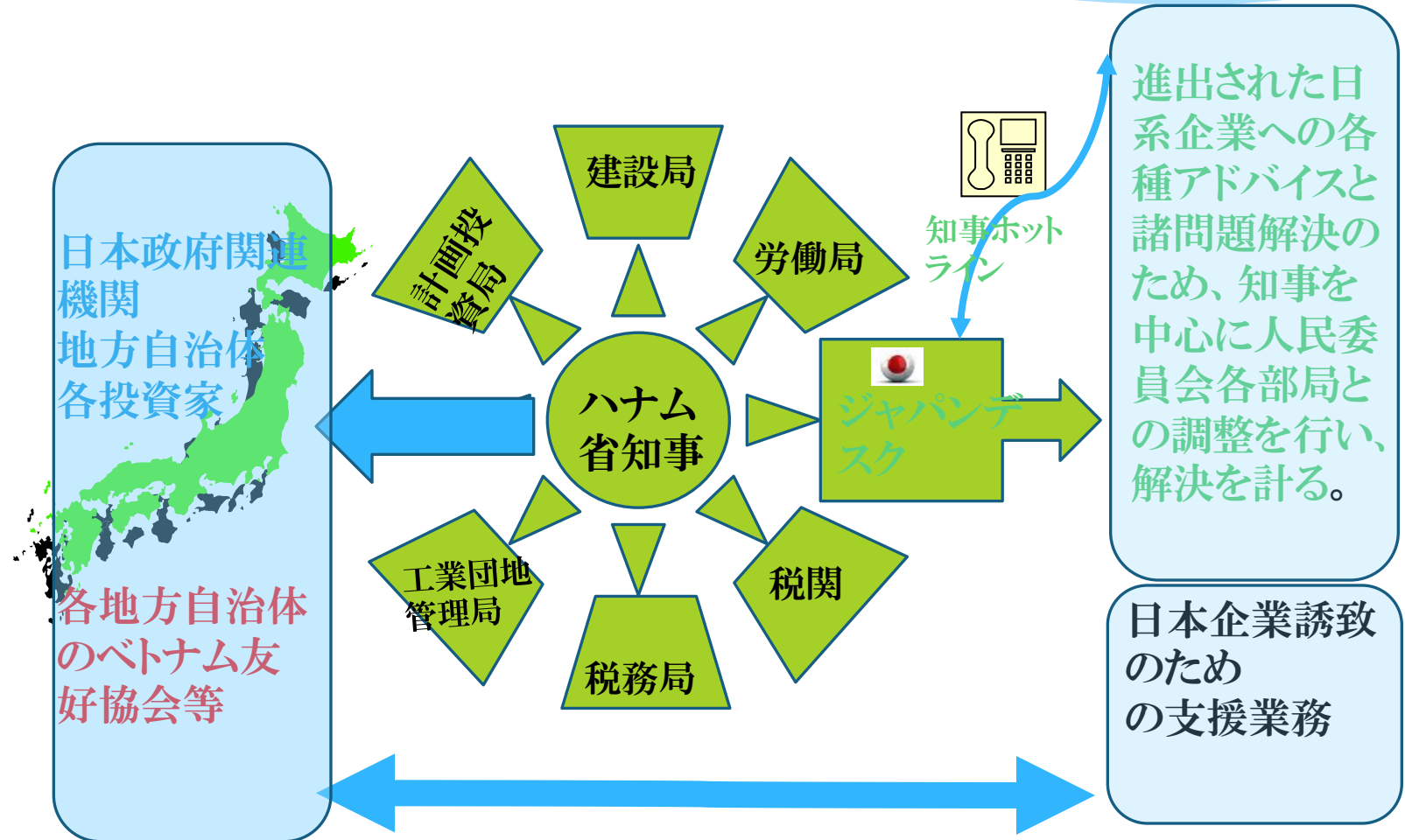
中小企業支援 その③

行政各機関と日本企業との 意見交換や交流
を通し、中小企業経営者の不安を取り除いていく。



公安当局と活発な意見交換
を行う 日本企業代表者

地方自治体による日本企業サポートシステム



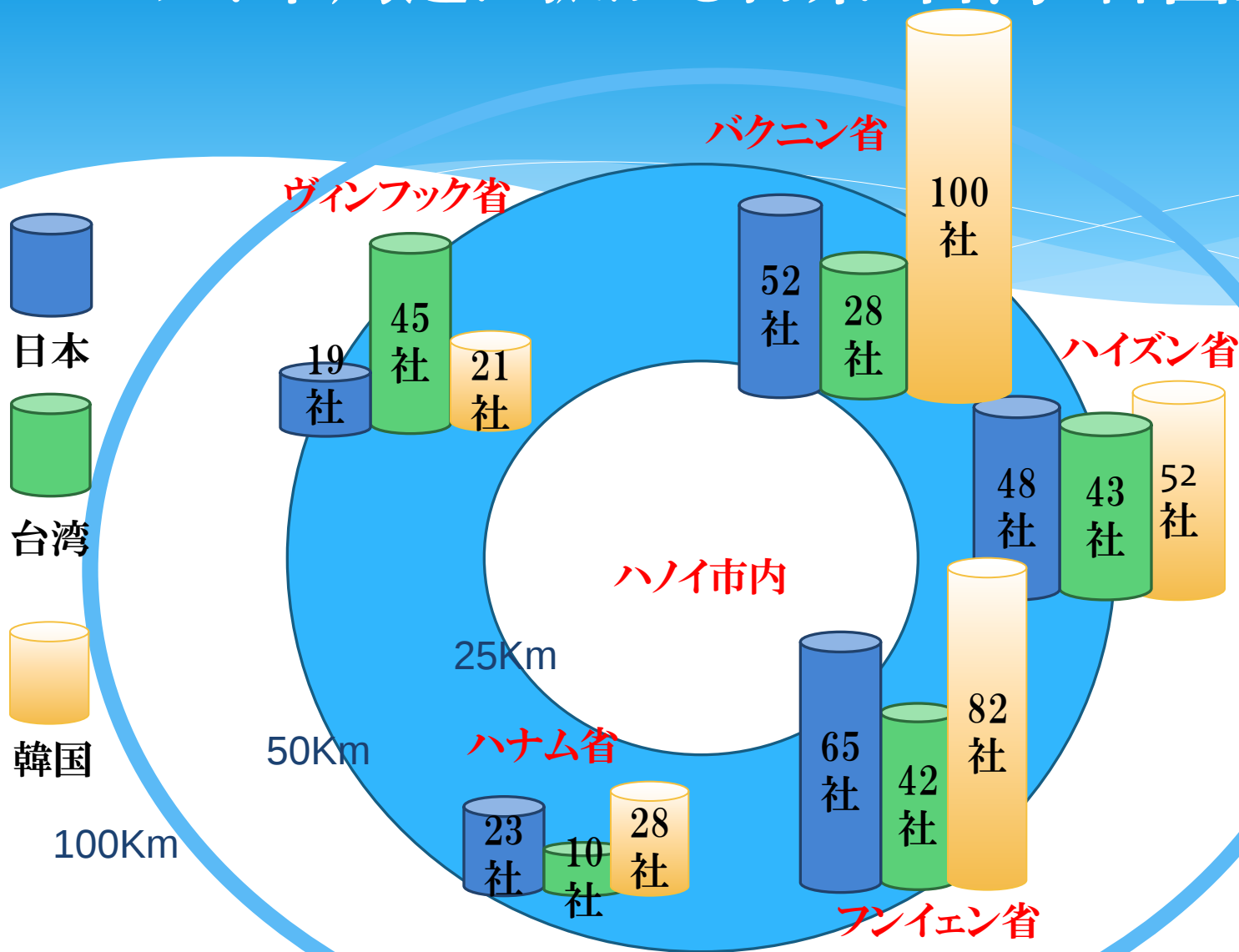
ベトナムでの競争相手は、××国企業

日系大手メーカーが利用する、ベトナム国内部品供給工場

	2008	2009	2010	2011	2012	2013 (予定込)	構成比
日系	27	37	38	43	50	55	48%
ベトナム	19	19	19	22	23	23	20%
台湾系	17	17	22	25	27	37	32%
合計	63社	73社	79社	90社	110社	115社	100%

コスト競争に勝てるよう、効率的な投資を行う必要がある。

ハノイ市周辺に広がる日系・台湾・韓国企業



5年以内に利益が出せるか

VIDの工業団地内 日本企業経営状況調査（ヒアリングによる）

No	業種	調査対象数	利益状況			%
			4年以内に、利益計上した企業数	5年目に利益を計上した企業	合計	
1	製造	34	15	7	22	64.71%
2	サービス	6	4	0	4	66.67%
3	営業所等	2	0	0	0	0.00%
	Total	42	19	7	26	61.90%

中小企業支援 その④

投資登録時 事業内容にレンタル事業権を付加

- * ドンバン2工業団地に進出する中小企業には、自社スペースを有効に利用し、また協力業者を自社工場内に呼び込むことを可能にする、不動産業を同時に取得するサービスを実施している。

また輸入販売権(商社権)を付加することによりベトナム国内での 営業品目を増やす

- * 新井 製作所 (滋賀県)
プラスチック成型
+
空きスペースをレンタル工場として利用



日本で取引の有る金型企業が賃借し、新ベトナム法人を工場内に設立。

今後ベトナム市場に幅広く展開していく予定。

中小企業支援 その⑤

初期投資を抑える 購入も可能な、標準レンタル工場の仕様

植田産業 静岡県 紙ひも製造 2012年に進出

当初レンタル工場を検討

1500m²の標準仕様の工場を建設

予定投資額を大幅に下回る

別棟を増築、日系文房具製造会社
に レンタル契約が成立



中小企業支援 その⑥

従業員の採用と定着率向上のために

M&R社(デニム製品) 京都

2007年に進出(中国よりシフト)

周囲に大型電子機器工場が数社稼働し
(1万人クラス)募集が難航

従業員数の推移と離職率

	2008	2009	2010	2011	2012
管理部	8	15	31	52	57
生産部	202	388	394	413	505
離職率	35%	28%	18%	6%	5%

敷地内に 託児所を開設
ミルクや食事も高品質



工業団地への中小企業誘致には インフラ整備 だけではなく 成功に導くための支援が重要

- 初期投資を抑え
- 人材の確保と 定着率を高め
- 行政当局との交流を計り 支援を受けられる体制とし
- 競争力ある資材調達を 行い
- 可能な限り幅広い 営業品目を 事業内容に取り込み
- 自社で現在利用していない 工場スペースを有効利用し
- 早期に利益が出せるよう 無駄を省く

ベトナム投資支援センター(BTD)ではお手伝しています。

ハナム省ドンバン2工業団地の優位性

ベトナムの最低賃金 第三エリアに属し、
通勤1時間圏内のハノイ周辺都市において
これから発展する地域である。

外国企業数が ハノイ市周辺では最も少なく 現
在80社程である。 従業員の取り合いも無く
求人等も容易であり、従業員の定着率が高く、
中小企業の進出に適している。

行政による日本企業に対する優遇が受けられる。

エリア内の サービス体制が充実

エリア内には 食堂 研修室を完備(建設準備中)

**各種事務作業のアウトソーシングが可能であり、
最低人数でのオペレーションが可能**

製造業から サービス業まで 幅広く対応

- * ご清聴有難うございました。
- * ベトナム投資支援センター(BTD JAPAN)
- * VID グループ
- * 中川 良一

nakagawa@btd.co.jp

ベトナム事務所電話: +84-4-3771-0290

ベトナム 直通電話: +84-91323-6620

日本事務所 電話: 03-5645-7410



Investment Support Center (BTD Japan)